

報道各位

第3回 日本放送文化大賞 ラジオ部門 TOKYO FM「SCHOOL OF LOCK！」がグランプリを受賞！！

社団法人日本民間放送連盟が制定、2005年より毎年実施されることとなった「日本放送文化大賞」のグランプリ、準グランプリ作品の発表が本日(10月31日)の第55回民間放送全国大会席上で行なわれ、TOKYO FMの「SCHOOL OF LOCK！」が、ラジオ部門のグランプリを受賞いたしました。

「日本放送文化大賞」は、民間放送連盟の会員各社において質の高い番組がより多く制作・放送されることを促す目的で、視聴者・聴取者の期待に応えるとともに、放送文化の向上に寄与したと評価される番組を顕彰する目的で制定されました。

<グランプリ作品紹介>

□タイトル：SCHOOL OF LOCK！

□放送日時：毎週月曜～木曜 22：00～23：55、金曜 22：00～22：55、23：30～23：55

※受賞作品の放送日時は2006年8月16日(水) 22：00～23：55

□出演者：やましげ校長、やしろ教頭 ほか

□プロデューサー：森田太(TOKYO FM)

□ディレクター：若杉健太(TOKYO FM)、鈴木善朋(アシスタントディレクター、(株)フォレスト)

□構成作家：藤谷弥生(フリー)、土屋瞳(構成アシスタント、(株)シェおすぎ)

□番組概要：

2005年10月よりスタート、「未来のカギを握るラジオの中の学校」をコンセプトとした10代向け生放送ワイド番組。

ロックはLOCK(カギ)を意味する。毎晩、1人でも多くのリスナーが、自分の中に眠る“心の鍵”の存在に、気付いてくれたら！とそんな想いを込めて開校しました。

□受賞作品の放送内容：

この日のテーマは「親子問題」。2時間×3日間連続で、長丁場で取り上げてきた最終日。

「自分の親に対して、壁があるから本音が言えない」

「親から暴力をふるわれ、どうしていいかわからない！」

「親に自分の事を伝えたいけど・・・伝わらない」

そんなリスナーと話がしたい！

今、ラジオの前で1人で泣いてるリスナーへ。

今夜はキミ達のための授業(ラジオ)！どうか顔を上げてくれ！

そんな想いを込めて、誠心誠意、魂を込め、勇気と覚悟を手に、放送した3日間。

そして、この日登場したリスナーは、中学3年生の女の子。

《お母さんに暴力を振るわれ、兄には生きる権利がないと言われ、さらには自分を傷つけるリストカットをして、毎日泣いています。》